

令和6年度 本科第3学期・情報経理専修コース後期終業式 式辞

(令和7年3月 21日)

みなさんこんにちは。

本科3学期、専修コースの年明けてからの学校生活、本当に短く感じられたのではないのでしょうか。

令和6年度も最後の月となりました。前回の登校日は、卒業式でした。その卒業式から 3 週間あまり経ちましたがつい先日のように思われます。先日の卒業式では、卒業生は勿論、今ここにいる在校生の生徒さんの態度・行動により卒業生にとって心に残る立派な卒業式になりました。本当にありがとうございました。気持ちのこもった言葉もそうですが、まず形から入ることが大切です。具体的には、TPO に応じた服装や所作をきちんとすることによりお世話になった先輩方に敬意と感謝を表します。そして、式典においては厳かさが加わります。そのためには備えることが大切です。昨年末より学年主任の田口先生の方から服装については予告していただきました。私も日頃の君たちの学校生活での様子を見ていてきっとできると信じていました。

専修コースの皆さんも含めて生徒の皆さん、ここまで1年また2年間頑張ってきたのですから本校入学時の初心をもう1度思いだし、残りの1年または 2 年、「高校卒業」へ向けて長商での学びを充実させてほしいです。専修コースを先日卒業された生徒さんも卒業後のこの3月に、目標にしていた検定資格に合格したと母校に足を運んだり連絡をいただいたりしました。2月、授業が少ない中での目標としていた検定合格は「本当の学びとは、自ら学ぶこと」を体現しておられます。学ぶのは皆さん自身で、「わからないこと」が重要になります。「わからないこと」について自ら学ぶ姿勢です。私は、1年後の卒業式を是非楽しみにしています。

ここにいる生徒の皆さんにとってもこの1年間学んできた学年からの卒業、旅立ちでもあります。その意味で長商生が次の学年へ向けてしっかり旅立つことができる時期であってほしいと思います。旅立ちという言葉からは、私は大空に向かって飛行機が飛び立つ様子も思い浮かべます。アメリカ人のライト兄弟によって世界初の有人動力飛行が成功したのは20世紀初めの1903年。それが来月4月に開催される大阪関西万博2025ではなんと空飛ぶ車が披露されるとのこと。わずか1世紀あまりで、この技術の躍進には先人たちも驚きを隠せないことでしょう。想像できた人はごく一握りだったのではないのでしょうか。かのライト兄弟でさえ、「人類はこれから1000年経っても飛ぶことはできないだろう」と弱音を吐いたことがあるそうですから。しかし、一方でこのことは「夢を追い続ければ、それはいつか叶う、必ず!」という証でもあるのではないのでしょうか。そのためにも、先ほども申しましたが、「在りたい自分」へ向けて自分の夢と己自身を知る「備えができる人」になり、夢へ向けて失敗を恐れずまず行動に移してください。

令和6年度も残り1週間あまり、令和7年度がもうすぐ始まります。4月には新入生を迎え、2・3年生が最上級学年に、1年生が学校の方向性を握る学年へと進級をします。時の流れに取り残されることなく、それぞれ、新学期からのスムーズなスタートができるよう願う次第です。「在りたい自分」に向けて、次年度の目標をきちんと掲げ4月を迎えられることを願い本科3学期及び専修コース後期終業式式辞とします。